

高校での学習を知ることができ、進路選択に向けて有意義な体験でした 3年 高等学校授業体験 7月9日(土)

本校では、生徒への思いとして、中学生としての今の“幸せ”だけでなく、卒業してからの“幸せ”についても大切にしていきたいと考えています。卒業してからの“幸せ”とは、生徒が社会に出てから、その行った先で「社会の一員としてやっていける」ことです。そのために、義務教育を終えた来年の4月からどうやっていくか、これをしっかり決めてくことが、3年生にとっての今の課題です。そのための取り組みのひとつ、「高等学校授業体験」を7月9日(土)土曜授業日に実施しました。



これは、都立学校にお願いをし、その学校の設置学科等で学ぶ内容を、中学生向けにアレンジして授業していただくものです。今回は5校にお引き受けいただき、学校紹介等を交えながら、下表のようなテーマで体験授業をしていただきました。

高等学校名【学科名(コース名又は科名)】	テーマ【教科・科目等】
赤羽北桜【家庭(保育・栄養、調理)】	食品学「味覚の検査に挑戦してみよう」
葛飾総合【総合(単位制)】	キャリア・コア「将来を見据えて科目選択をしてみよう」
蔵前工業【工業(電気)】	電気回路「コンデンサの充放電回路」
江東商業【商業(ビズ収)】	ビジネス入門「商業高校で学ぶ『簿記』『情報処理』『マーケティング』」
農産【農業(食品)】	食物に関する授業「缶づくりを体験してみよう」

どの授業も、中学生にはレベル的にちょっと上の内容ですが、みんな真剣に授業に取り組んでいました。終了後には自分の学級に戻り、それぞれ受講して学んだことを発表する報告会を行いました。



今回の授業では、将来につながる高校での学習がどのようなものであるかを実際に体験でき、進路選択に向けてたいへん参考になりました。また、新しいことを身につけるうえで、学ぶ姿勢や気持ちがいかに大切かを実感する経験にもなりました。